

このエリアには ツキノワグマが 暮らしています

クマと共存するために知っておきたいこと



環境省
Ministry of the Environment

発行 2025年7月 環境省 信越自然環境事務所
作成 NPO法人 信州ツキノワグマ研究会

あなたは今、 クマの生息地にいます

クマを意識して行動しましょう。
クマは積極的に人を襲う動物ではありませんが、食料やゴミの味を覚えると危険なクマになってしまいます。

食料・ゴミを食べさせない

- ☒ 食料・ゴミはニオイが出ないように管理



食料やゴミを覚えて
危険なクマになるまで



近くでバツタリ出会わない

- ☒ 音を出す (鈴・ラジオ・手をたたく・声)



近くで出会ってしまったら

- ☒ ゆっくり後ずさり
☒ 大声を出さない！
☒ 走って逃げない！



裏面に詳しい対策が書かれています。4つ折りにして携帯してください

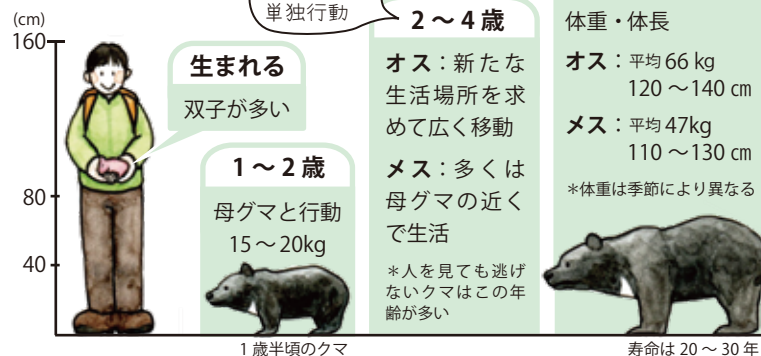
ツキノワグマ (食肉目クマ科)

日本では、本州と四国に分布。森林性の大型哺乳類で、様々な生き物の暮らす豊かな自然に生息する。月の輪模様や性格はクマごとに異なる。



夏に人里に近づくクマが多いが、山登りして高山帯のお花畑で過ごすクマもいる

クマの成長



食べ物・暮らし

- 草や木の実を中心に、昆虫類なども食べる**雑食性** (季節により食べ物は変化)
- 季節によって利用する標高が変わる

クマの行動範囲

- 1日の移動距離：約 1 ~ 3 km
- 1年間の行動範囲：約 10 ~ 700 km²

クマの活動時間

- 春~夏：主に昼間に活動 (建物近くなどでは夜活動)
- 秋：昼も夜も活動

冬眠開始 (11月中旬~)

*多くは12月末までに冬眠



2月初旬に子グマ誕生



食料やゴミを絶対にクマにとらせないで!!

味を覚えたクマは「人の近くには食べ物がある」と学習して人をあまり怖がらなくなります。

危険なクマをつくらず、安全に山を楽しみましょう。



キャンプ場では 食料・ゴミをしっかり管理

✓ 野外・テントの前室に放置しない

✓ 食料・ゴミ：ニオイが出ないように密閉袋*1に入れて荷物の中へ
*1…チャック式ビニール袋など

✓ 調理器具・食器等：きれいにふき取り、密閉袋に入れて荷物の中へ

💡 包装紙、飲み終わった缶、ペットボトルもクマを引き寄せる

・油、ニオイの強い食品、生ゴミの出る食材は避ける

・管理者の指示に従う



食料・ゴミは持ち歩く

✓ ニオイが出ないように密閉袋に入れて荷物の中へ

✓ 荷物をデポ*2する時は、ニオイが出ないように厳重に密閉する
(ニオイがクマを引き寄せる)

*2…山頂を目指すために荷物を置くこと

💡 荷物をクマに荒らされたら近くの施設に通報

休憩中のゴミ

✓ ゴミ・食べ物が落ちていたら拾う

クマと近くで出会わないために

✓ 音*3を出して人の存在をクマに知らせる

*3…鈴・ラジオ・手をたたく・声を出すなど

✓ なるべく複数人で行動

✓ 見通しの悪い場所・沢沿い・強風・雨天時は特に注意

✓ 下山まで「出会わない対策」を忘れない



クマは人の存在に気付くと、逃げたり隠れたりすることが多い



クマに出会ったら

✓ 落ち着いてゆっくり後ずさり
(クマを見ながら)

✓ 大声を出さない

✓ 背を向けて走らない
(本能的に追いかける)

✓ 荷物・石などを投げない

クマを驚かせたり興奮させると
攻撃される可能性がありとても危険



クマに襲われたら

✓ うつ伏せになり、首・顔・腹部を守る

✓ 動かない



クマは自身や子を守るために本能的に攻撃することがある



子グマの近くには
母グマがいて危険!!



人を見ても逃げないクマがいたら

✓ 無理に通行せず、クマが去るまで待つ

✓ 絶対に近づかない
(攻撃されることがある)

✓ 近づいて写真を撮らない

💡 逃げないクマを見たら近くの施設に通報